

# **STAR**

## **ブロードカスタ**

### **取扱説明書・部品表**

製品コード K30334 ・ K30335

型式 MBC5530 ・ MBC5531

製品コード K30336 ・ K30337

型式 MBC8030 ・ MBC8031

部品供給型式 **ABU5030-02**

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

---

**スター農機株式会社**

START

# ⚠ 安全に作業するために

## 安全に関する警告について

本機には、⚠印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

### 警告ラベルについて

⚠ **危険**

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

⚠ **警告**

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠ **注意**

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

⚠ **注意**



本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。

1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行って下さい。
2. 酒を飲んだとき、疲労、麻痺や経絡しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。
3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
5. 点検や調整をするときは、必ずPTOなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
7. 他人に本機を貸すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようにすすめて下さい。

部品番号 106164

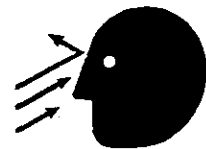
⚠ **警告**



運転中又は回転中、スピナーに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。  
周囲に人を近づけないで下さい。

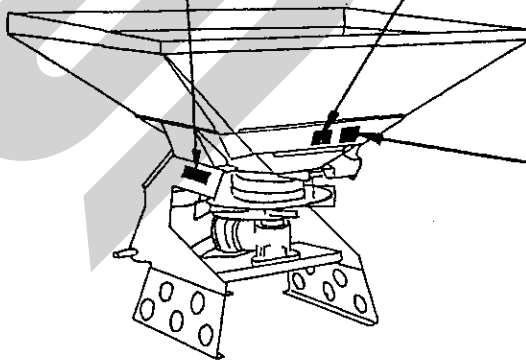
部品番号 106418

⚠ **注意**



散布作業中、飛散物が当たり、ケガをする事があります。  
周囲に人を近づけないで下さい。

部品番号 106421



### — ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

## 安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してから行ってください。

### 作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

#### ▲注意

- 機械の取り扱いで分からない事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こしケガをする事があります。取扱説明書は、分からない事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

#### ▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

#### ▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。
  - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
  - 酒を飲んだ時。
  - 機械操作が未熟な人。
  - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

#### ▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。次に示す服装で作業してください。
  - 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
  - ズボンや上着は、だぶつきのないもの

を着用する。

- 帽子を着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は、

#### ▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

#### ▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検をする時は

#### ▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

#### ▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタへの横やステップに立ったまま行くと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。
- エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」(中立)にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。主変速レバーを「N」(中立)にして行ってください
- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。PTOを切ってから始動してください。

- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。
- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。窓、戸などを開け、十分に換気してください。

#### 作業機を着脱する時は

##### ▲警告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間の人に人がいると、挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の人に人を近づけないでください。

##### ▲注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となり、思わぬ事故をまねく事があります。トラクタへバンパーウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

#### パワージョイントを使用する時は

##### ▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。損傷したらすぐに取り替えてください。使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。PTOを切り、トラクタのエンジンとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

##### ▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。

最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。

適正な重なり量で使用してください。

- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていないと、使用中に外れ、ケガをする事があります。溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

#### 公道走行時は作業機の装着禁止

##### ▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。トラクタに作業機を装着しての走行はしないでください。

#### 移動走行する時は

##### ▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

##### ▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。トラクタには、運転者以外の人を乗せないでください。
- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。低速走行してください。
- 旋回する時、作業機が旋回方向とは逆方向にふくれるため、周囲の人に接触しケガをさせたり、対向物・障害物に衝突しケガをする事があります。周囲の人や対向物・障害物との間に十分な間隔を保って行ってください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こすことがあります。路肩は走行しないでください。

- 高低差が大きい段差を乗り越えようとする  
と、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガ  
をする事があります。あゆみ板を使用し  
てください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガ  
をする事があります。  
また、物を載せて走行すると、落下し、周  
囲の人へケガを負わせる事があります。  
作業機の上には、人や物などはのせないで  
ください。

#### ▲注意

- 作業機への動力を切らないで走行すると、  
周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わ  
せる事があります。  
移動走行する時は、PTOを切ってください。

## 作業中は

### 作業する時は

#### ▲警告

- 運転中又は回転中、スピナーに接触する  
と巻き込まれ、ケガをする事があります。  
周囲に人を近づけないでください。
- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業  
すると、機械の破損により、ケガをする事  
があります。  
指定回転速度を守ってください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガ  
をする事があります。  
また、物を載せて作業すると、落下し、周  
囲の人へケガを負わせる事があります。  
作業機の上には、人や物などはのせないで  
ください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故を  
まねく事があります。  
低速で作業してください。  
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、  
暴走する原因となります。坂の前で低速に  
変速して、ゆっくりとおりてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避  
や、周囲の人への危険回避などができず、  
思わぬ事故を起こす事があります。  
前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運  
転してください。
- 手放し運転すると、思わぬ方向へ暴走し、  
事故を起こす事があります。  
しっかりとハンドルを握って運転してくだ  
さい。
- ハウス内などの室内作業をする時、排気ガ  
スにより中毒になる事があります。  
窓、戸などを開け、十分に換気をしてくだ

さい。

#### ▲注意

- 散布作業中、飛散物が当たりケガをする事  
があります。  
周囲に人を近づけないでください。
- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、  
PTOおよびエンジンをとめずに作業する  
と、第三者の不注意により、不意に作業機  
が駆動され、思わぬ事故を起こす事あり  
ます。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や  
可動部がとまっていることを確認して行っ  
てください。

### トラクタから離れる時は

#### ▲警告

- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地な  
どに駐車すると、トラクタが暴走して思わ  
ぬ事故を起こす事があります。  
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタの  
エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴  
走を防いでください。
- トラクタから離れる時、作業機をあげたま  
まにしておくと、第三者の不注意により不  
意に降下し、ケガをする事があります。  
下限まで降ろしてからトラクタを離れてくだ  
さい。

## 作業が終わったら

### 機体を清掃する時は

#### ▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物  
の除去作業などを行うと、機械に巻き込ま  
れてケガをする事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や  
可動部がとまっている事を確かめて行っ  
てください。

### 終業点検をするときは

#### ▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や  
破損などが放置され、次の作業時にトラブ  
ルを起こしたり、ケガをする事があります。  
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点  
検を行ってください。
- 3点リンクで本機を持ち上げて点検・調整  
を行う時、第三者の不注意により、不意に  
降下し、ケガをする事があります。  
トラクタ3点リンクの油圧回路をロックし  
て行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確認して行ってください。
- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

# も く じ

## ▲ 安全に作業するために

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	4
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	5
作業中は	4		

## 1 トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	8	5 パワージョイントの装着	10
2 適応トラクタの範囲	9	1. 長さの確認方法	10
3 組立部品	9	2. 切断方法	11
4 トラクタへの装着	9	3. 安全カバーの脱着方法	11
		4. パワージョイントの連結	11

## 2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	12	2 エンジン始動での点検	12
1. トラクタ各部の点検	12	3 給油箇所一覧表	13
2. 連結部の点検	12		
3. 製品本体の点検	12		

## 3 作業の仕方

1 本機の使用目的	14	3 作業要領	15
2 作業のための調整	14		



## 4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ …… 16

2 トラクタからの切り離し …… 16

3 長期格納する時 …… 16

## 5 点検と整備について

1 点検整備一覧表 …… 17

## 6 不調時の対応

1 不調処置一覧表 …… 18

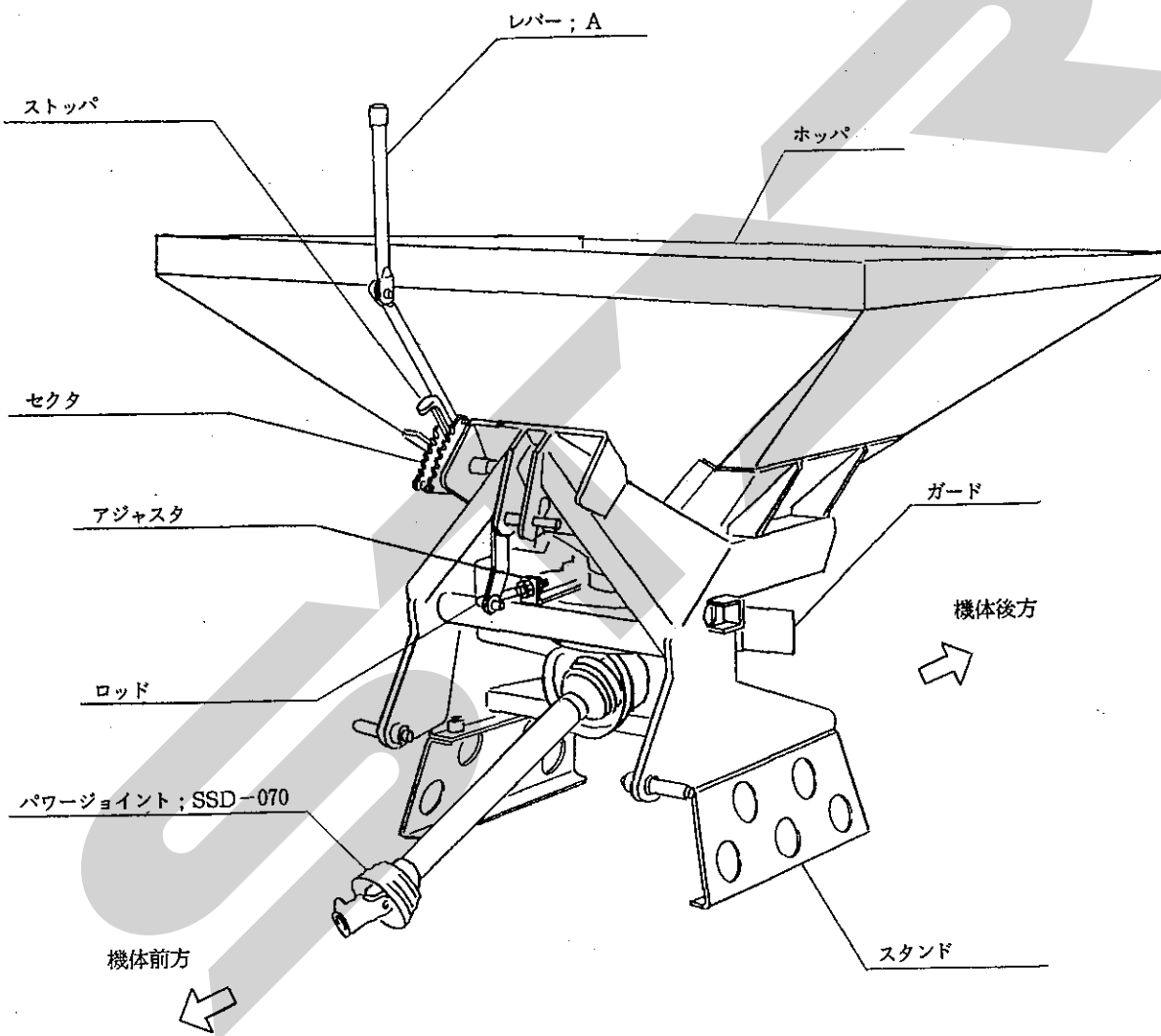
## 7 部品表

19

# 1 トラクタへの装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

## 1 各部の名称とはたらき



### 1. レバー ; A

肥料、石灰等の散布開始及び終了をこのレバーの押し引きにより行います。

前に引くと散布口が開き、カラー (35028) に当たるまで押しと散布口が閉じます。

### 2. ストップ

肥料等の散布時、散布量を調節するためのもので、開度調節が10段階に設定できます。

全閉時、レバーのもどり止めのため、ストップをセクタの一番後側にセットしてください。

### 3. ロッド

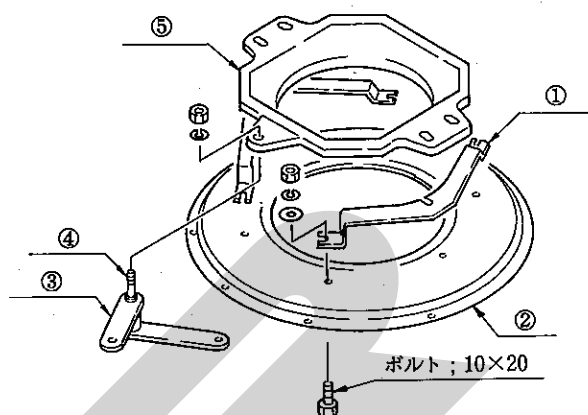
レバー ; A全開時に落下口が全開となるように、アジャスタを固定しているナット ; M10で微調整します。

### 4. パワージョイント ; SSD-070

トラクタからブロードカスタの散布羽 (ブレード) およびホッパ内のスクレーバを駆動します。

(2) レバー③、バー④をホップフランジ⑤に取り付けてください。

(3) ブレードカバー②をもとにもどし、各ボルトに緩みがないか確認してください。



## 4 トラクタへの装着

1. トラクタ3点リンクとブロードカスタの3点フレームを連結します。

(1) トラクタのエンジンを始動して、ブロードカスタの左右のローリンクピンの位置が合うまで後進して、トラクタをとめてください。エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。

(2) 左のローリンクを連結し、抜け止めにトラクタに付いているリンチピンをローリンクピンに差してください。

次に右のローリンクも同じ順序で行ってください。

(3) トップリンクを連結し、トップリンクピン ; I・IIで固定し、抜け止めにベータピンを差してください。

(4) 左右のローリンクが同じ高さになるように、トラクタ右側のアジャストスクリウで調整してください。

(5) P I C軸芯がトラクタ中心におおよそ一致するよう、チェックチェーンでセットし、本機の横振れをなくしてください。

(6) リンチピンを抜き、スタンドを外してください。

## 2 適応トラクタの範囲

### ▲ 注意

- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となり、思わぬ事故をまねく事があります。トラクタへバンパーウエイトを取りつけ、バランスを取ってください。

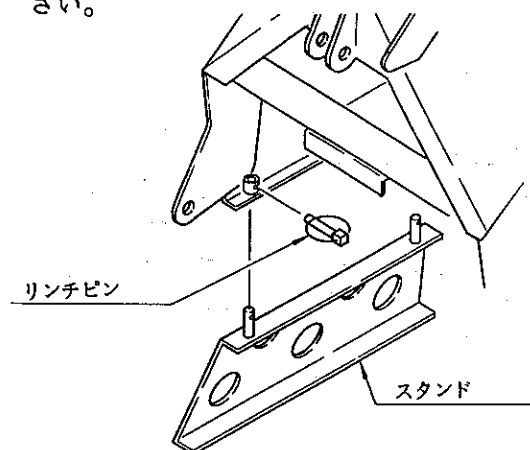
型 式	適応トラクタ馬力(PS)
MBC5530 MBC5531	45~
MBC8030 MBC8031	55~

## 3 組立部品

1. 木枠に固定している部品をほどいてください。
2. 梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。
3. 梱包明細及び部品表に従って部品を組み付けてください。

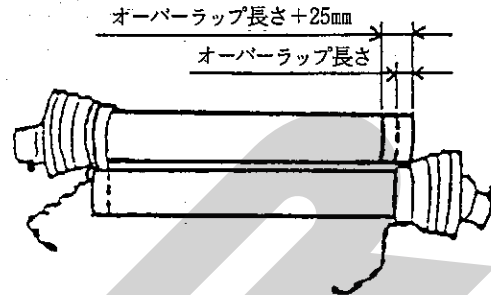
尚、ユアツレバーは次の手順で組み付けてください。

- (1) ブラケット①とブレードカバー②をとめているボルト4本をはずし、ブレードカバー②を下にさげてください。



- 7) 肥料落下口が地上より60~70cmの高さになるようトラクタの油圧レバーを操作し本機を持ち上げてください。このとき、横方向から見て、ブロードカスタが垂直になるようにトップリンクの長さを調整してください。
- 8) シャッターの開閉をシュドウレバーで行う時は、本機を上昇させた時、リフト時にキャビンや背中等に当たらない範囲内で、操作のし易い位置を確認し、ボルトで固定してください。

- TO軸・PIC軸に連結し、クランプピンが元の位置に出るまで押し込んでください。
- (4) 安全カバー同士を重ね合わせた時、安全カバー（アウト）と安全カバー（インナ）がオーバーラップする位置に目印を付け、さらにオーバーラップした長さに25mmを加えた位置に印を付け、この印からカバー端部までの長さを切断方法の手順に従って切断してください。



## 5 パワージョイントの装着

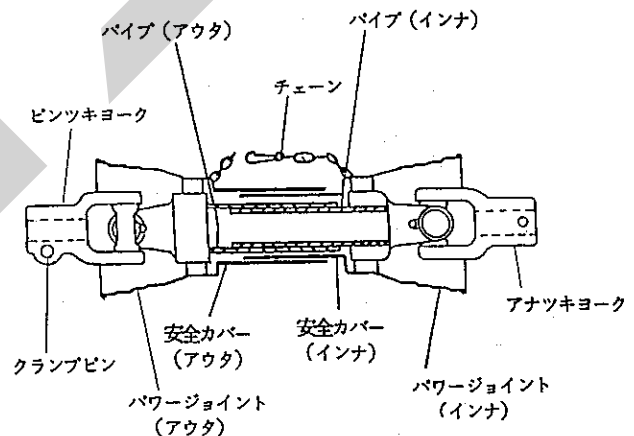
### ▲ 危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。損傷したらすぐに取り替えてください。使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。PTOを切り、トラクタのエンジンを止めて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

### ▲ 注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。適正な重なり量で使用してください。

- (5) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とPTC軸が最も離れる位置で、昇降を停止してください。
- (6) 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプの重なりが100mm以下の場合、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。

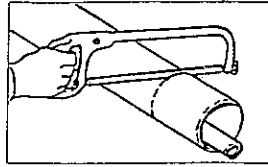


### 1. 長さの確認方法

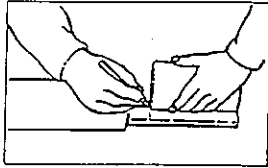
- (1) パワージョイント（アウト）から、パワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- (2) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とPIC軸が最も接近する位置で、昇降を停止してください。
- (3) ピン付きヨークのクランプピンを押してP

## 2. 切断方法

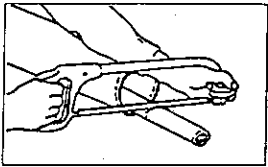
- (1) 安全カバーのアウト・インナ両方を長い分だけ切り取ります。



- (2) 切り取った同じ長さをパイプの先端から計ります。



- (3) パイプのアウトとインナ両方を金ノコまたはカッターで切断します。



切断する時は、パイプの中にウェスを詰め、パイプ内面に切り粉が付着するのを防いでください。

- (4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げたらパイプをよく清掃し、次にグリースを塗布して、アウトとインナを組み合せます。

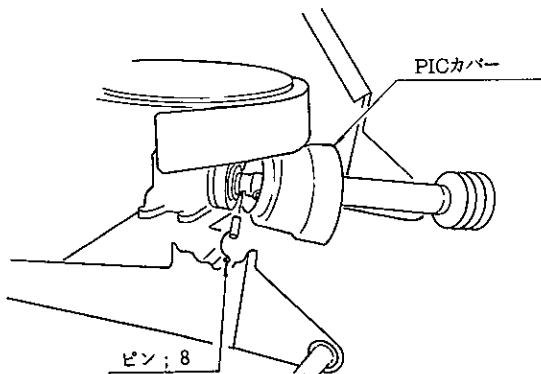
## 3. 安全カバーの脱着方法

- (1) 標準タイプ、3Sタイプの場合

- ① パワージョイント（アウト）からパワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- ② パイプ部を堅い台の上に立て、安全カバーを強く押し上げると噛み合せ部がはずれ、安全カバーが取りはずせます。
- ③ 安全カバーの取り付けは手順を逆にして行ってください。
- ④ カバーが破損して交換する時以外は安全カバーを取りはずさないでください。

## 4. パワージョイントの連結

- (1) ブロードカスタに装着されているPICカバーを引いて外し、ジョイントに入れてピン部を外に出します。
- (2) 穴付ヨークをブロードカスタPIC軸に連結し、ピン；8（00461）を差し込んでください。ピン；8の抜け止めを穴付ヨーク外周の溝に確実にはめ込んでください。

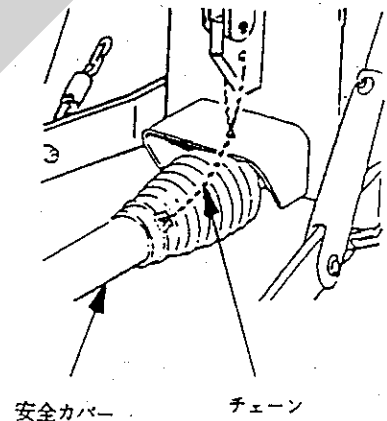


- (3) 外したPICカバーを再びギヤボックスに差し込んでください。
- (4) ピン付ヨークのクランプピンを押して、PTO軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

### ▲ 注意

- パワージョイントを接続したら、トラクタPTO側のクランプピンが溝に納まっている事を、またPIC側のピン；8（00461）の抜け止めが穴付ヨーク外周の溝に納まっている事を確認してから使用してください。それぞれの溝にきちんと納まっていないと、使用中にパワージョイントが外れ、重大な人身事故にあることがあります。

- (5) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。  
チェーンは3点リンクの動きに順応できる余裕を持たせ、また他への引っかかりがないように余分なたるみを取ってください。



## 2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

### 1 運転前の点検

#### 1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

#### 2. 連結部の点検

##### (1) 3点リンクの連結部点検

- ① ローリンクピン・トップリンクピンのリンチピン・ベータピンは、確実に挿入されているか。
- ② チェックチェーンは張られているか。
- ③ 不具合が見つかった時は、「1-4 トラクタへの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

##### (2) パワージョイントの点検

- ① ピンツキヨークの抜け止めのクランプピンが軸の溝に納まっているか。  
穴付ヨークにピン；8が差し込まれているか、ピン；8の抜け止めが穴付ヨーク外周の溝に確実にはめ込まれているか。
- ② ジョイントカバーのチェーンの取付に余分なたるみはないか。また、適度な余裕があるか。
- ③ ジョイントカバーに損傷はないか。  
損傷している時は、速やかに交換してください。
- ④ 不具合が見つかった時は、「1-5-4 パワージョイントの連結」の説明に基づき不具合を解消してください。

#### 3. 製品本体

点検整備一覧表に基づき始業点検を行ってください。

### 2 エンジン始動での点検

#### ▲ 警告

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをすることがあります。  
PTOを切ってから始動してください。

#### 1. トラクタ油圧系統に異常はないか。

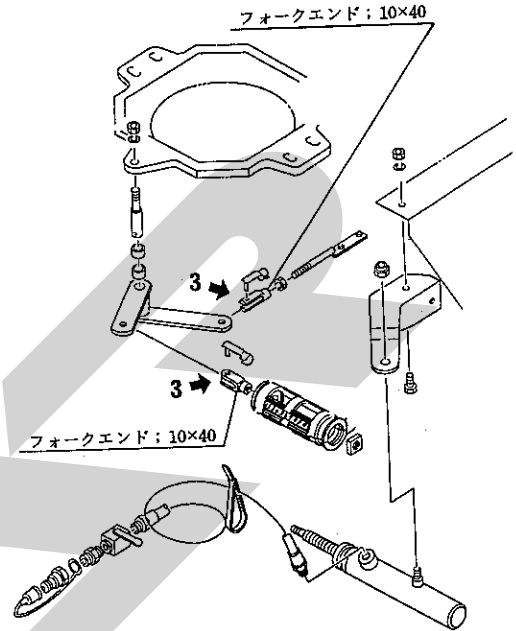
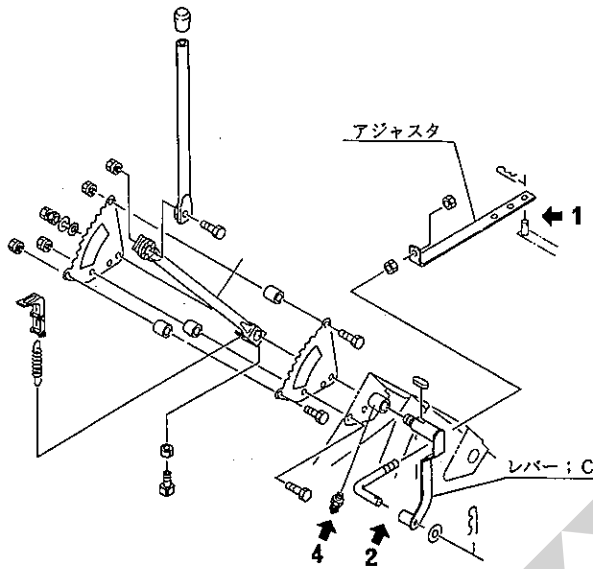
トラクタ油圧を操作し、3点リンクを上昇し、本機を持ち上げた状態で、降下がなければ異常ありません。

トラクタ油圧系統などに異常がある時は、トラクタ販売店にご相談ください。

### 3 給油箇所一覧表

○給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。

○グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。



No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	アジャスタピン挿入部	1	オイル	使用毎	適量	注油
2	レバー; C ロッド挿入部	MBC 5530 1 MBC 8030 1	"	"	"	"
3	フォークエンド; 10×40ピン部	MBC 5531 2 MBC 8031 2	"	"	"	"
4	レバー; C 回転部	MBC 5530 1 MBC 8030 1	グリース	"	"	給脂
5	パワージョイント	2	"	"	"	"
6	ギヤボックス	1	ギヤオイル #90	使用初25~30時間その後シーズン毎に交換始業点検時確認	レベル迄	始業点検時確認補給

### 3 作業の仕方

#### 1 本機の使用目的

本機は粒状肥料（高度化成など）、砂状肥料（ヨーリンなど）の散布に使用します。

#### 2 作業のための調整

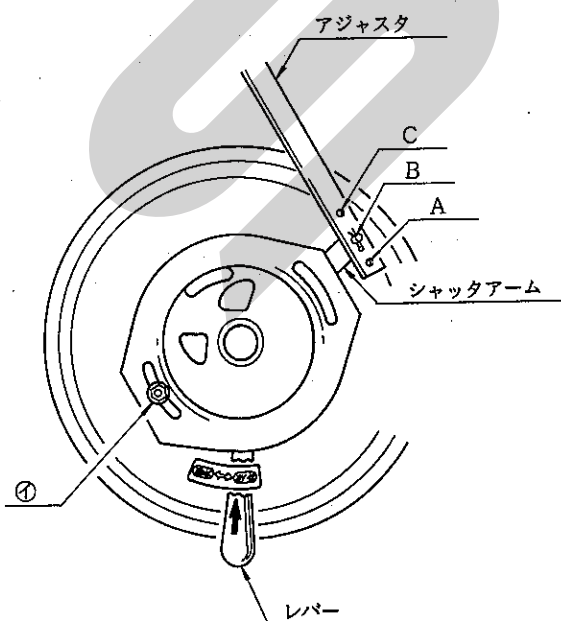
##### 1. レバーの調整

###### (1) シュドウレバーの調整

- ① アジャスタをシャッターアームからはずします。
- ② ナット①（2箇所）を緩めます。
- ③ 肥料の種類に応じてレバーの位置を合わせナットを締めます。
- ④ アジャスタをシャッターアームと連結します。

粒状肥料の場合はAの穴、砂状肥料の場合はBの穴に連結してください。

- ⑤ シャッターレバーを全開にし、落下穴が全開となるよう、アジャスタに固定しているロッドネジ部にて微調整してください。
- ⑥ ナットがしっかり締まっているか、ベータピンがきちんと入っているか確認してください。

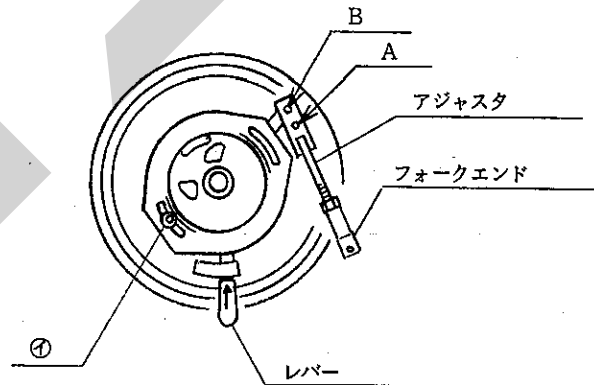


##### 2) ユアツレバーの調節

- ① アジャスタをシャッターアームからはずします。
- ② ナット①（2箇所）を緩めます。
- ③ 肥料の種類に応じてレバーの位置を合わせナットを締めます。
- ④ アジャスタをシャッターアームと連結します。

粒状肥料の場合はAの穴、砂状肥料の場合はBの穴に連結してください。

- ⑤ カイドゲージを回し、ストップの中心をカイド目盛10に合わせてください。
- ⑥ トラクタの油圧をきかせ、シャッターを全開にしてください。
- ⑦ 落下穴が全開となるよう、アジャスタネジ部のフォークエンドにて微調整してください。
- ⑧ フォークエンドのピン及びベータピンがきちんと入っているか確認してください。



##### 2. PTO回転速度

作業時における常用回転速度は、400rpmです。

###### ▲ 警告

- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。  
指定回転速度を守ってください。

###### 取扱い上の注意

散布の際、シャッターを閉じたままPTOを回さないでください。



### 3. 散布量の調整

散布量の調整は、ストップで10段階に選べます。下記の表を参考にして開度を決めてください。

(例) 高度化成(粒状肥料)を10アール当り50kg散布したい場合下記開度の目盛にストップを合わせて作業してください。

(油圧式の場合は、ストップの中心を目盛りに合わせてください。)

トラクタ速度6km/hrで開度6

トラクタ速度10km/hrで開度8

### 開 度 別 散 布 量

トラクタ速度に応じた散布量

(単位: kg/10a)

肥料	散布幅	速度	開度2	3	4	5	6	7	8	9	10
粒状	9 m	10km/hr	5	10	17	25	35	45	55	65	75
		6 km/hr	7	17	28	40	55	73	88	105	125
砂状	5 m	10km/hr	8	20	45	70	100	120	140	160	190
		6 km/hr	13	35	75	117	160	200	240	280	320

### 4. 地上高と姿勢の調整

粒状肥料、砂状肥料の散布は散布羽(ブレード)までの高さが60~70cmになるようにトラクタ油圧でセットしてください。

### 1. 肥料の投入

移動中の振動による固まりを防ぐため、肥料の投入は圃場に着いてから行なってください。

作業前にホップ容量と散布量を考慮し、あらかじめ圃場各所に肥料を置いておくこと能率の良い作業ができます。

### 2. 種子の散布

牧草種子及び細粒種子の散播の際には、種子と同比重のもの(例、オガクズ)を増量剤として混合してください。

増量剤を使用せず微量散布しますと散布の均一性が悪くなります。

## 3 作業要領

#### ▲警告

- 運転中又は回転中、スピナーに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。指定回転速度を守ってください。
- ハウス内などの室内作業をする時、排気ガスにより中毒になる事があります。窓、戸などを開け、十分に換気をしてください。

#### ▲注意

- 散布作業中飛散物が当りケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

## 4 作業が終わったら

### 1 作業後の手入れ

#### ▲ 注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行なう時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。

PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

- 3点リンクで本機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。

1. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか、また、破損部品がないか確認してください。不具合が見つかった時は、ボルトの増締、部品の補修又は交換をしてください。
2. 作業終了時は、水洗いし、ホップ内の肥料をきれいに流してください。特にホッププレートとディスクプレート間は、水洗い後、ホップ内の水を切るためディスクプレートは開けてください。

### 2 トラクタからの切り離し

1. 本機にスタンドを取り付けてリンチピンでとめてください。
2. スタンドが地面に接するまでトラクタの油圧レバーを操作し本機をおろします。
3. トラクタPTO軸からパワージョイントを外します。
4. トップリンクを外し、左右のローリンクをはずします。

### 3 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。  
また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、PTO軸、PIC軸、パワージョイントのスプライン部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

## 5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

### ▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- P T Oおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機を上げた状態のまま下でもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをします。下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。

### 1 点検整備一覧表

時 間	チェック項目	処 置
新品使用 1 時間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使用后 25～30 時間	ギヤボックスのオイル	オイル交換
使 用 毎 (始業終業点検)	① 機械の清掃 ・ホッパ内の肥料 ・ディスクプレートとホッパプレート間の肥料 ② ギヤボックスのオイル ③ 部品脱落・破損部 ④ 各部のボルト・ナットの緩み ⑤ 各部油もれ ⑥ 各部の油脂類	給油 補充、交換 増し締め シールチェック、破損時交換 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油、給脂
シーズン終了後	① ギヤボックスのオイル ② 各部の破損、摩耗 ③ 各部の清掃 ④ 各部の給油、給脂 ⑤ 回動支点等の摩耗 ⑥ 塗布損傷部 ⑦ P I C等無塗装部	交換 早めの部品交換 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布 グリースまたは油塗布

## 6 不調時の対応

### ▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機を上げた状態のまま下でもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。

### 1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
シャッタ（ディスクプレート）が動かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクプレートとホッププレート間に肥料が詰まる。</li> <li>・ストップバルブが締まっている。（ユアツレバー）</li> <li>・油圧カプラがきちんと接続されていない。（ユアツレバー）</li> <li>・回動支点部がさび付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「4-1 作業後の手入れ」に基づき清掃。</li> <li>・ストップバルブを開く。</li> <li>・油圧カプラをきちんと接続する。</li> <li>さびを取り除き、グリースを塗布する。</li> </ul>
肥料がでない。	使用している肥料の水分が高い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホップ内部を清掃し、乾燥した肥料を使用する。</li> </ul>

原因や処置の仕方がわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）


# 7 部 品 表

## 部品のご注文について


1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式 (型式)
- ③ 部品名称 (部品表を参照してください)
- ④ 部品番号 (           "           )
- ⑤ 個 数 (           "           )

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示していません。

2. 部品名称欄に「付」と表示している部品は、該当見出番号の部品が付属されております。

(例)

見出番号	部品番号	部分名称	個数
1	92602	シャフト  2付	2
2	ONAS6	グリースニップル; A-M6×1F	6



このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。


3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。


4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

(例) BZ0815A (G)

(メッキ仕上げ)  
A; ナット・スプリングワッシャ付  
D; ナット2個付  
N; ナット付  
P; ワッシャ付  
W; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の・は、以下のことを表しております。

…シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。

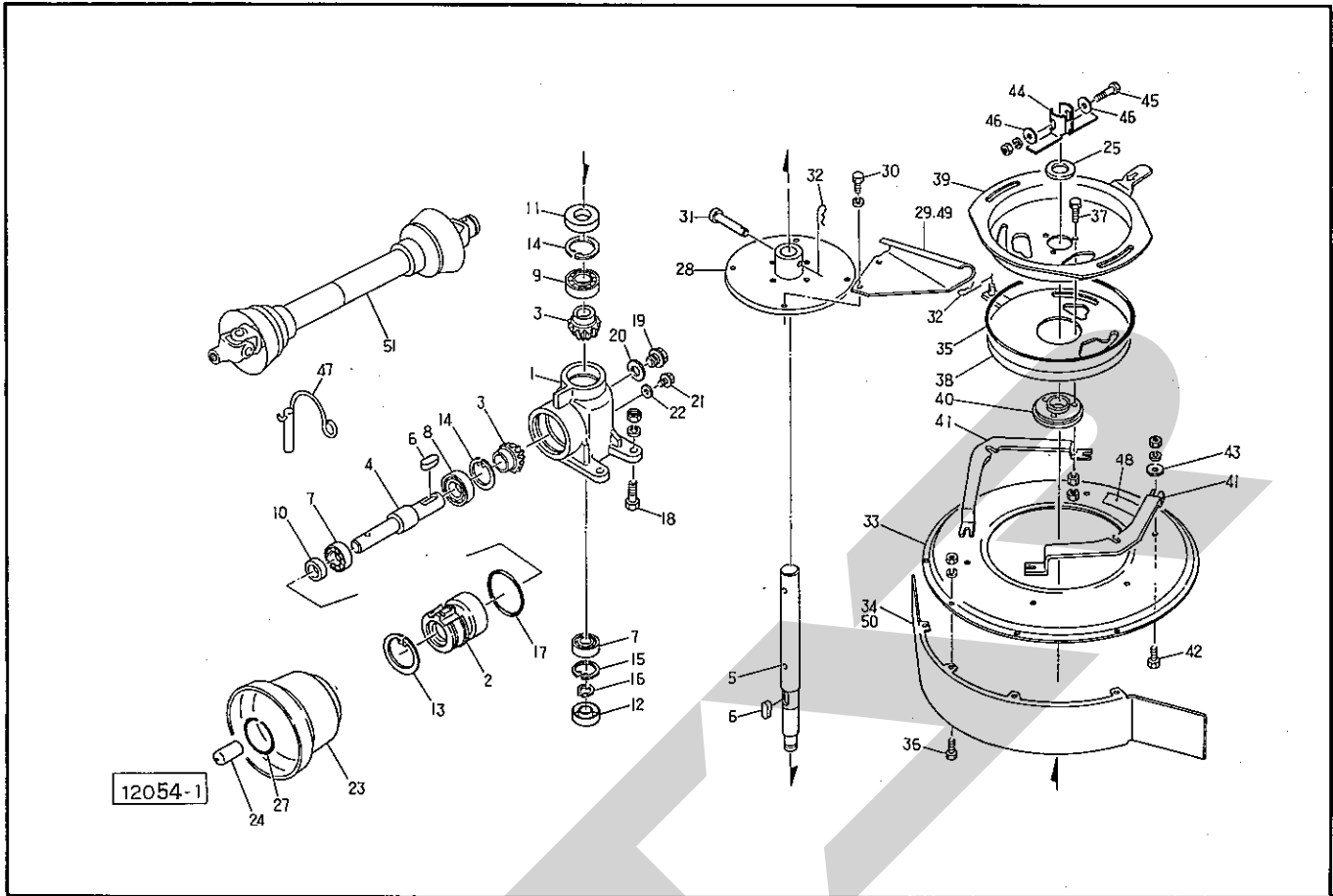
…アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

## 補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

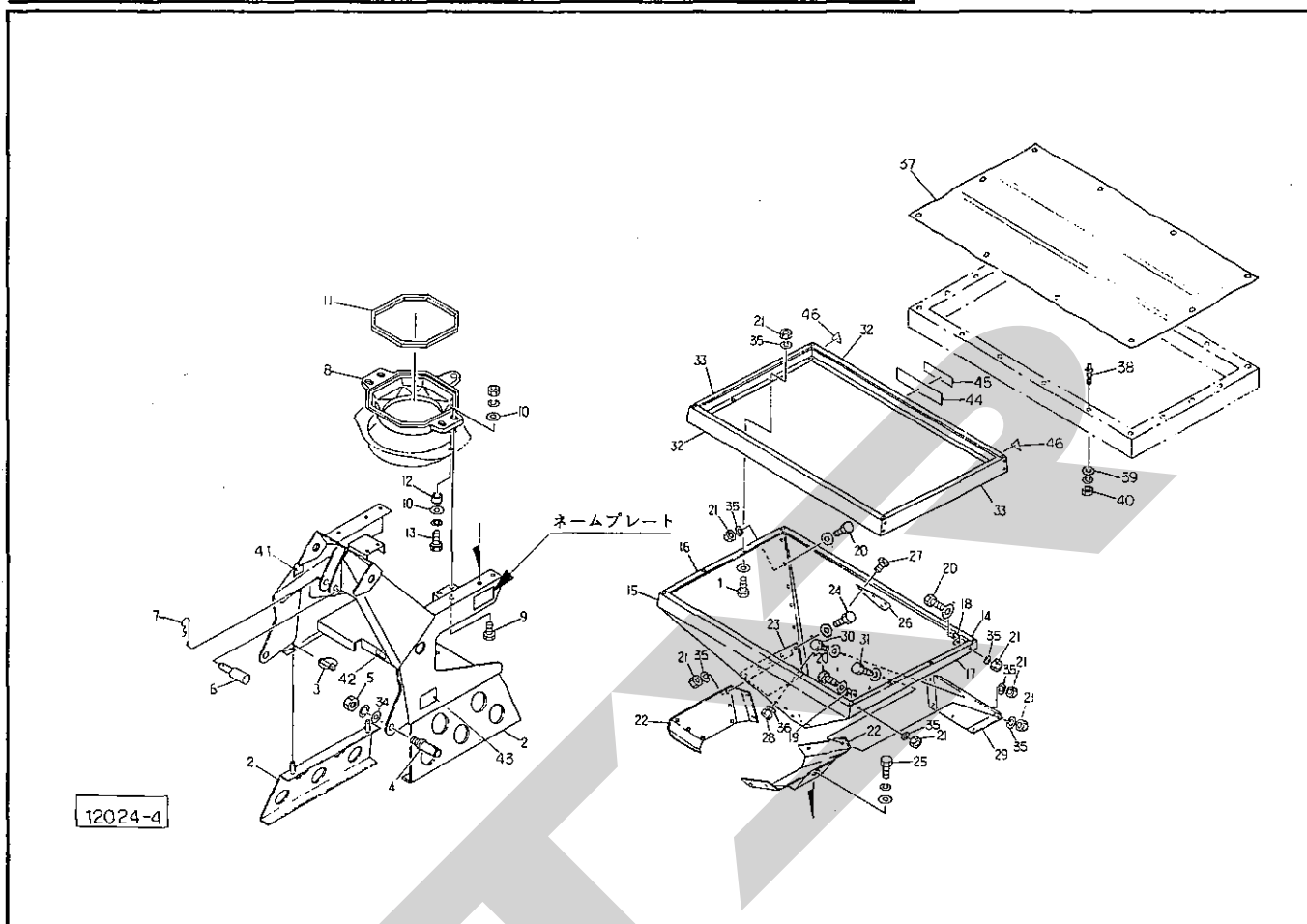
補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

# MBC5530・5531・8030・8031 ブロードカスタ ギヤボックス・サンプ



見 番 号	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数	見 番 号	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数
1	74421	ギヤボックス ㊦19~22付	1	27	00825	リング; S	1
2	92381	キャップ	1	28	72622	ボス	1
3	74423	マイタギヤ; M3.5×19T	2	29	72441	ブレード	4
4	74424	シャフト	1	30	BC1015W	ボルト; M10×15 (ステンレス)	8
5	92314	シャフト	1	31	35125	ピン	1
6	KFC08070300	キー; 8×7×30 (両丸)	2	32	00085	ベータピン; 8×1.6	2
7	J6205	ベアリング; 6205	2	33	74427	ブレードカバー	1
8	J6206	ベアリング; 6206	1	34	74428	ガード	1
9	J6007	ベアリング; 6007	1	35	ORP255	Oリング; P 255	1
10	D25408	オイルシール; D 25408	1	36	BC0610A	ボルト; M6×10 (ステンレス)	4
11	D356210	オイルシール; D 356210	1	37	BC0620D	ボルト; M6×20 (ステンレス)	3
12	D25528	オイルシール; D 25528	1	38	74429	ディスクプレート	1
13	DHC85	スナップリング; H85	1	39	92317	ホッパプレート	1
14	DHC62	スナップリング; H62	2	40	74433	リング	1
15	DHC52	スナップリング; H52	1	41	74434	ブラケット	2
16	DC25	スナップリング; S 25	1	42	BC1020A	ボルト; M10×20 (ステンレス)	4
17	ORG85	Oリング; G85	1	43	82296	ワッシャ; 10 (ステンレス)	4
18	BZ1240AG	ボルト; M12×40 (8.8)	4	44	35144	スクレーパ	2
19	00028	注油栓; PF 1/2	1	45	BC1060A	ボルト; M10×60 (ステンレス)	1
20	00328	パッキン; 30	1	46	WRC10	ワッシャ; M 10 (ステンレス)	2
21	00338	プラグ; M10	1	47	00461	ピン; 8	1
22	00339	パッキン; M10	1	48	65657	マーク; 落出口調節	1
23	00823	PICカバー; I	1	49	76597	ブレード; 耐摩耗	※ 4
24	00396	PICキャップ; 25	1	50	79222	ガード; 耐摩耗	※ 1
25	82166	ワッシャ	1	51	00604	パワージョイント; SSD-070	1

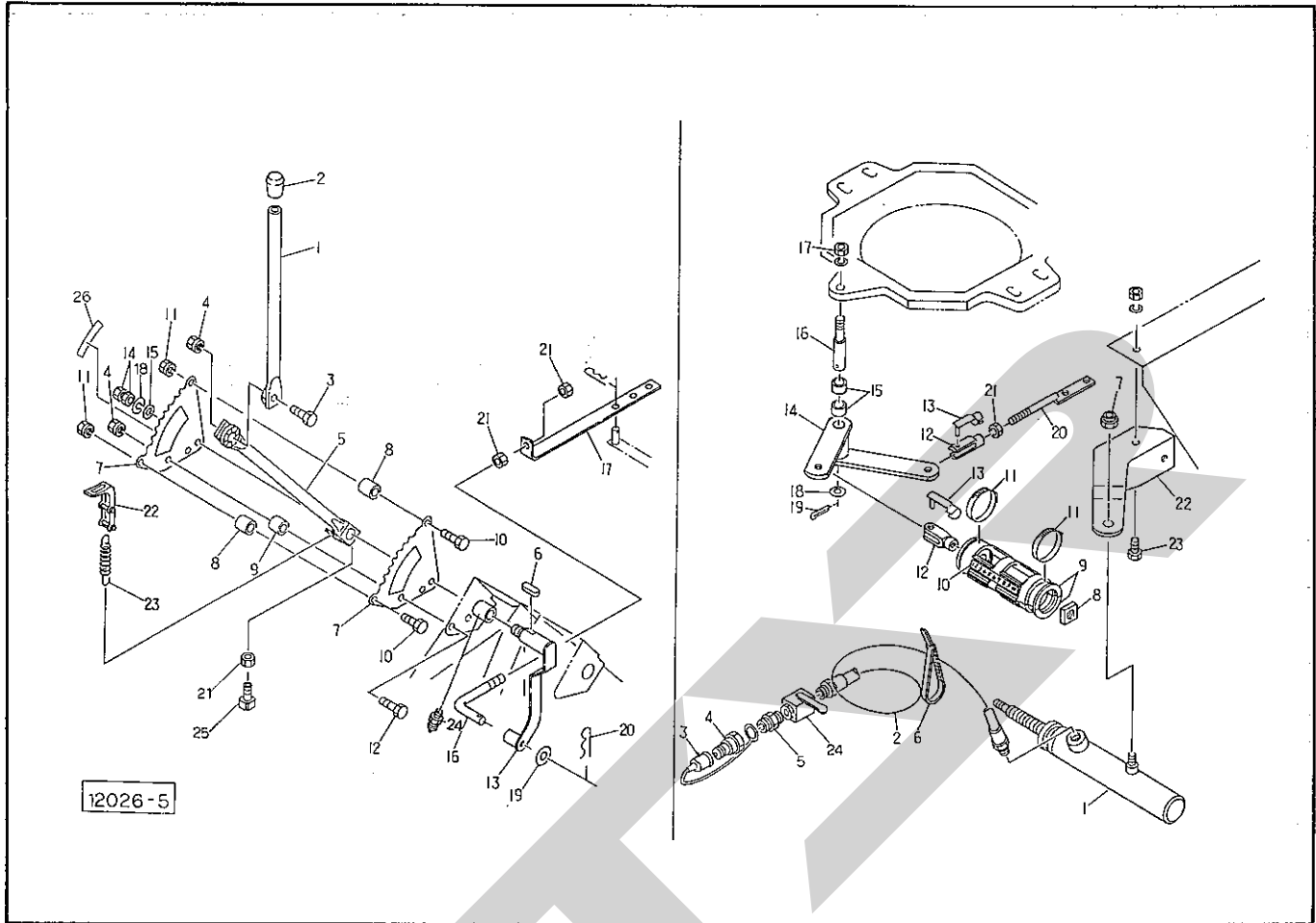
MBC5530・5531・8030・8031 ブロードカスター  
 フレーム・ホップフランジ・ホップ・サブホップ



見出 番号	部品番号	部 品 名 称	個数	見出 番号	部品番号	部 品 名 称	個数
1	BC0816P	ボルト; M8×16 (ステンレス)	28	26	92363	プレート; F-550	1
2	92291	スタンド	2	27	BC1025	ボルト; M10×25 (ステンレス)	4
3	00739	リンチピン; 9	4	28	NAS10	ナット; M10 (ステンレス)	4
4	00011	ローリンクピン; II	◎5付	29	92383	サポート	1
5	NZ24150WG	ナット; M24×P1.5 (8.8)	2	30	BC0820P	ボルト; M8×20 (ステンレス)	2
6	00098	トップリンクピン; I・II	◎7付	31	BC0825P	ボルト; M8×25 (ステンレス)	4
7	00088	ベータピン; 19×3	1	32	93003	サブホップ; 800 MBC8030・8031用	2
8	92303	ホップフランジ; S	1	33	93004	サブホップ; L・R800 MBC8030・8031用	2
9	BC1035A	ボルト; M10×35 (ステンレス)	4	34	WRA24G	ワッシャ; M24	2
10	82296	ワッシャ; 10 (ステンレス)	6	35	WSC08	Sワッシャ; M8 (ステンレス)	98
11	92352	ゴムプレート	1	36	WSC10	Sワッシャ; M10 (ステンレス)	4
12	82290	カラー	2	37	94454	カバー; 5500 MBC5530・5531用 ※	1
13	BC1035W	ボルト; M10×35 (ステンレス)	2		47150	カバー; 8000 MBC8030・8031用 ※	1
14	92357	ホップ; Re-550	1	38	65644-6	ヒネリ; オス特4	※ 10
15	92358	ホップ; F-550	1	39	WRA06G	ワッシャ; M6	※ 10
16	92360	ホップ; R-550	1	40	NA05WG	ナット; M5	※ 10
17	92359	ホップ; L-550	1	41	77910	ラベル; 開度別散布量 (B)	1
18	92366	アングル; 1	2	42	88976	ラベル; 350~450 rpm	1
19	92367	アングル; 2	2	43	92774	ラベル; トリアツカイチュウイ	1
20	BC0816P	ボルト; M8×16 (ステンレス)	44	44	94323	ストライプラベル; 90×350	1
21	NAS08	ナット; M8 (ステンレス)	98	45	00840	STARマークラベル (赤); 40	1
22	92365	ブラケット; 550	2	46	00330	三角反射プレート (赤)	2
23	92364	プレート; L・R-550	2				
24	BC0820P	ボルト; M8×20 (ステンレス)	20				
25	BZ1440PWG	ボルト; M14×40 (8.8)	4				

※ オプション

MBC 5530・5531・8030・8031 ブロードカスター  
 シュドウレバー ユアツレバー



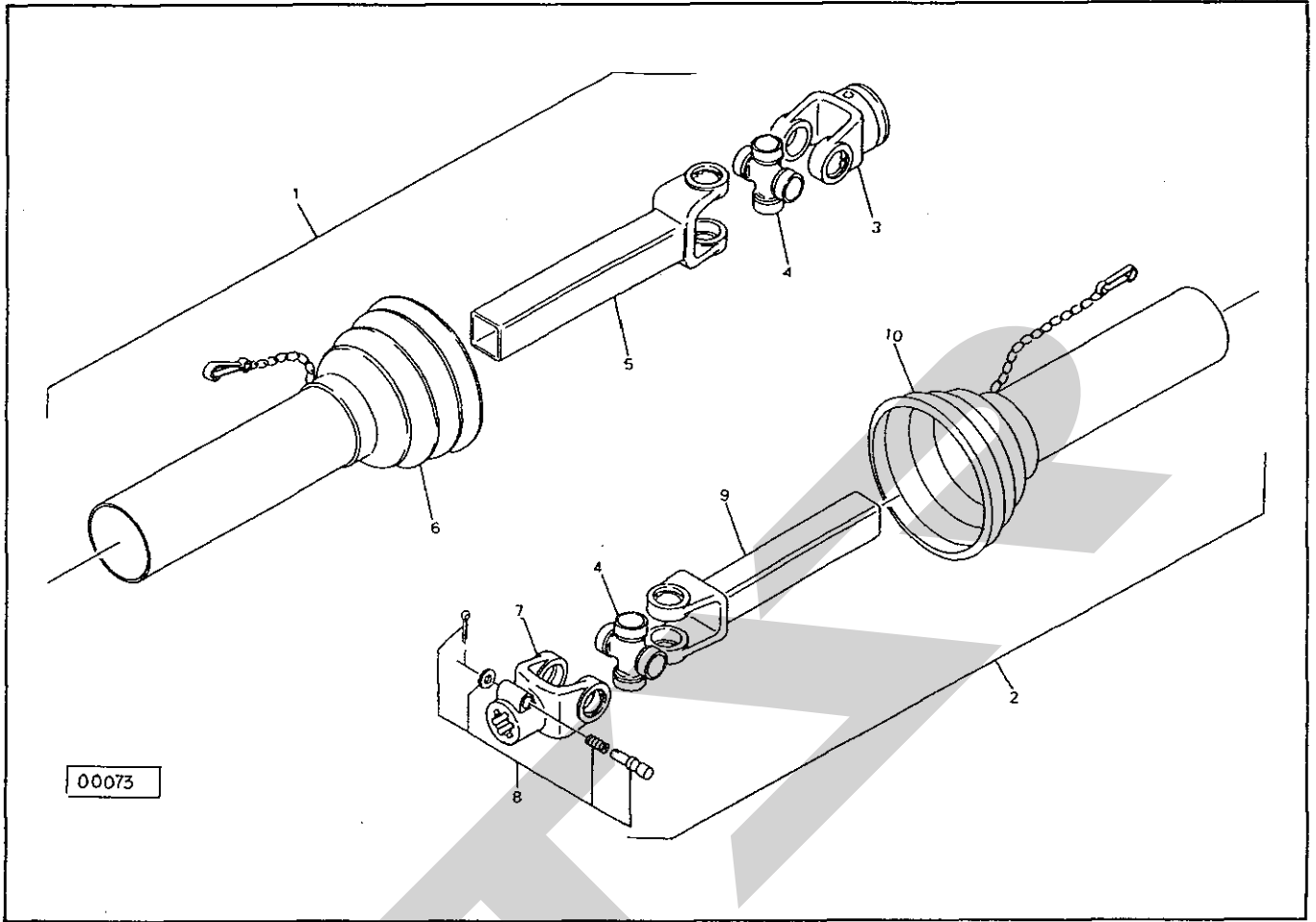
シュドウレバー〈MBC 5530、8030〉

ユアツレバー〈MBC 5531、8031〉

見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	92285	レバー; A	1	1	82278	シリンダ	1
2	00688	ニギリ; 20	1	2	71462	ホース; 1/4×2000	1
3	BZ1045G	ボルト; M10×45 (8.8)	1	3	00776	カブラキャップ; 3/8	1
4	NP10G	スプリングナット; M10	2	4	CLF30M	カブラ(オス); 3/8	1
5	92286	レバー; B	1	5	KN3020	ニップル; PT 3/8×PT 1/4	1
6	KFC05050200	平行キー; 5×5×20 (両丸)	1	6	ILT50L	イソシュロック; T50L	1
7	92289	プレート; セクタ	2	7	NN12G	ナイロソナット; M12	1
8	35028	パイプ; カラー	2	8	82286	ストッパ	1
9	35189	パイプ; カラー	1	9	82293	ガイドゲージ	2
10	BZ0840G	ボルト; M8×40 (8.8)	2	10	82573	マークラベル	1
11	NP08G	スプリングナット; M8	2	11	82299	ジザイクランプ; 66	2
12	BZ1050G	ボルト; M10×50 (8.8)	1	12	79422	フォークエンド; 10×40	2
13	92287	レバー; C	①14、15付	13	79423	ピン; 10×40	2
14	NZ12G	ナット; M12 (8)	2	14	92311	レバー	①15付
15	42783	ワッシャ; 12	1	15	77409	ブッシュ	2
16	92333	ロッド	①21付	16	82285	バー	①17~19付
17	92332	アジャスタ	1	17	NZ12WG	ナット; M12 (8)	1
18	WS12G	スプリングワッシャ; M12	1	18	WRA16G	ワッシャ; M16	1
19	WRA10G	ワッシャ; M10	1	19	PC5036G	ワリピン; 5×36	1
20	00085	ベータピン; 8×1.6	1	20	92316	アジャスタ	①21付
21	NZ10G	ナット; M10 (8)	3	21	NZ10G	ナット; M10 (8)	1
22	35022	ストッパ	1	22	92310	シリンダブラケット	1
23	62688	スプリング; φ8.8×70	1	23	BZ1230AG	ボルト; M12×30 (8.8)	2
24	ONAS 6	グリースニップル; A-M 6×1 F	2	24	00928	ストッパバルブ; 1/4	1
25	MB1020	シカクトメネジ; M10×20	1	26	35112	マーク; 開度調節	1



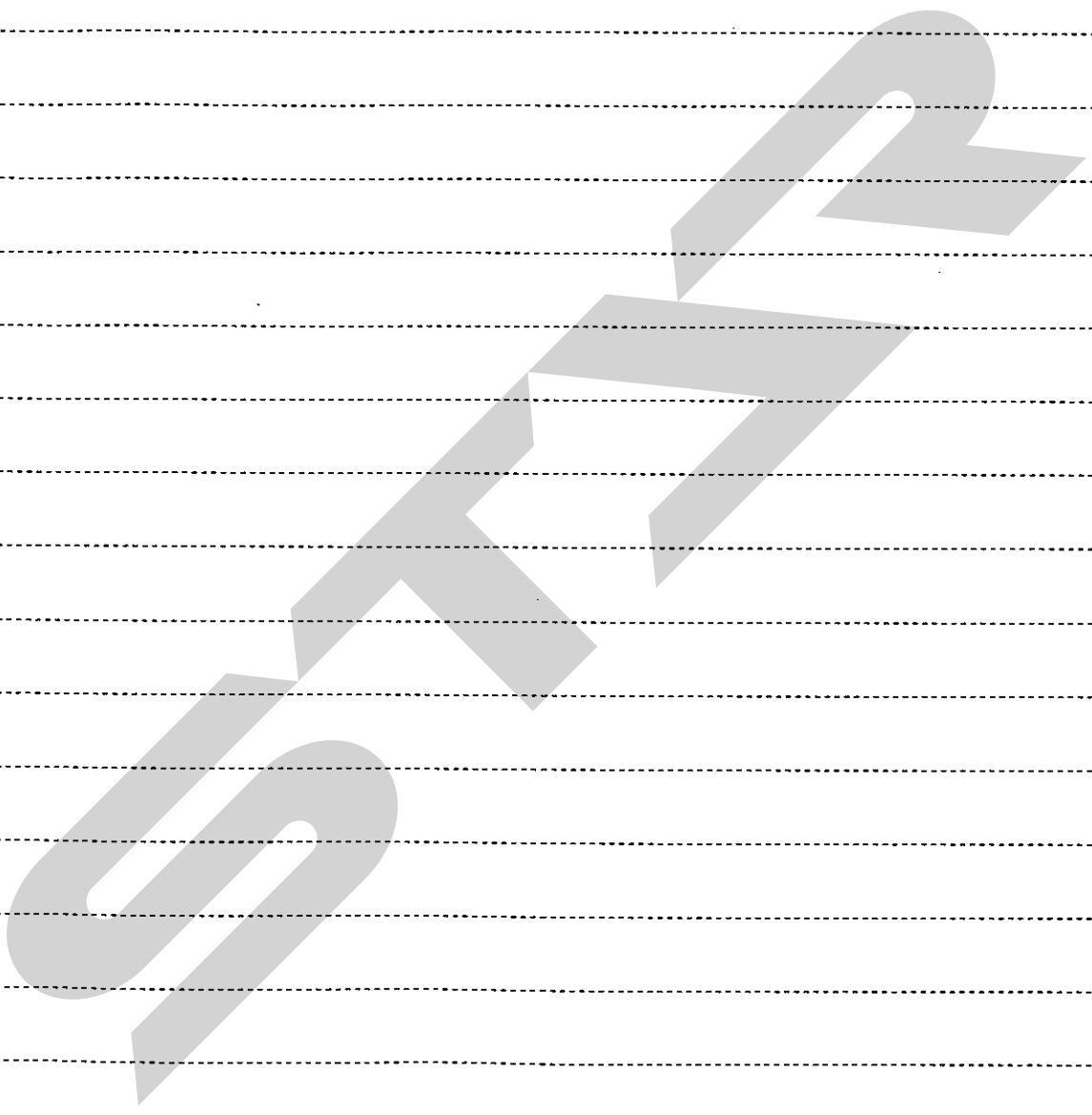
# SSD-070 パワージョイント



見出し番号	部品番号	部品名称	個数	見出し番号	部品番号	部品名称	個数
ASY	00604	パワージョイント;SSD-070	1				
1	00604-1	パワージョイント(インナ);SSD-070	1				
2	00604-2	パワージョイント(アウト);SSD-070	1				
3	00598	ヨーク;SS	1				
4	00540	スパイダ;SS	2				
5	00604-3	パイプツキヨーク(インナ);SSD-070	1				
6	00604-4	アンゼンカバー(インナ);SSD-070	1				
7	00594	ピンツキヨーク;SS	1				
8	00583	クランプピン;14	1				
9	00604-5	パイプツキヨーク(アウト);SSD-070	1				
10	00604-6	アンゼンカバー(アウト);SSD-070	1				

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.



SFAA

- 本 社 066 千歳市上長都1061番地2  
 TEL 0123-26-1123  
 FAX 0123-26-2412
- 千歳営業所 066 千歳市上長都1061番地2  
 TEL 0123-22-5131  
 FAX 0123-26-2035
- 旭川営業所 070 旭川市神楽4条9丁目3番31号  
 TEL 0166-61-6131  
 FAX 0166-62-8985
- 豊富出張所 098-41 天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地  
 TEL 0162-82-1932  
 FAX 0162-82-1696
- 帯広営業所 080-24 帯広市西22条北1丁目12番地  
 TEL 0155-37-3080  
 FAX 0155-37-5187
- 北見出張所 090 北見市小泉302  
 TEL 0157-24-3880  
 FAX 0157-61-1344
- 中標津営業所 086-11 標津郡中標津町北町2丁目16番2  
 TEL 01537-2-2624  
 FAX 01537-3-2540
- 花巻営業所 025-03 岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1  
 TEL 0198-26-5741  
 FAX 0198-26-5746
- 仙台営業所 985 宮城県多賀城市町前2丁目87番地  
 TEL 022-367-4573  
 FAX 022-367-4846
- 小山営業所 307-02 栃木県小山市梁2512-1  
 TEL 0285-49-1500  
 FAX 0285-49-1560
- 名古屋営業所 480-01 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191  
 TEL 0587-93-6888  
 FAX 0587-93-5416
- 岡山営業所 700 岡山県岡山市下中野704-103  
 TEL 086-243-1147  
 FAX 086-243-1269
- 熊本営業所 862 熊本県熊本市長嶺町2255-429  
 TEL 096-381-7222  
 FAX 096-384-3525
- 都城営業所 885 宮崎県都城市都北町3537-1  
 TEL 0986-38-1045  
 FAX 0986-38-4644